

いしかれん だより

第34号

2003. 8

石川県精神障害者
家族会連合会
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
石川県こころの健康センター内
TEL (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

石家連30周年記念式典に想うこと

石家連副会長 梶 義 伸

1年前、準備に入った当初はどうなることかと危惧されていたが、みんなで役割を分かちあい、日を追うごとに熱が入って本番当日はばっちり成功したという感じではないでしょうか…。

私の頭に以下5つの点が、石家連30周年記念行事に参加できた楽しい思い出としていつまでも残ることでしょう。

1. 石家連が昭和49年2月15日、石川県社会福祉会館で設立総会を開催し、30年後同じ場所で石川県知事・県議会議長・金沢市長を始め、多数の来賓を迎え盛大に挙行了きましたこと。
2. 小規模作業所職員（7年以上）永年功績者10名並びに、小規模作業所に仕事を提供支援していただいている事業所10社、ボラ

ンティア団体1団体に感謝状を会長名で贈呈。その際縁あって私が手書きで感謝状21枚我流ながら心をこめて書かせてもらったこと。

3. 当日の記念講演講師として蓮照寺住職に来ていただき、「心ゆたかに生きる」を演題とし、私達が日頃聞く話題とは違った内容でご講演いただき、大変好評で、お世話させてもらって良かったと自己満足できたこと。
4. シンポジウムで三障害の家族の方一同でそれぞれが熱意と示唆に満ちた勇気ある発言、石川県こころの健康センター所長清田吉和さんのコーディネーターとしてのさばきの見事さに感銘したこと。
5. みんなで歌おう、詩の朗読、どれも味が出ていて素晴らしかったこと。

原稿募集

石家連30周年記念誌に載せる会員のみなさまの原稿を募集します。

「石家連30周年におもうこと」

50字～100字 1人1件

募集期限：平成15年9月末までをお願いします。

原稿送付先：920-8201 金沢市鞍月東2丁目6

石川県こころの健康センター内 石家連事務局

FAX：076-238-5762

多くの方の応募をお待ちしています。

平成15年度 石家連総会開催される

平成15年6月13日 石川県こころの健康センター研修室に於いて午後1時から開かれました。

●来賓挨拶

湯浅課長補佐：

- ・ふれあいスポーツ大会今後三障害合同が軌道にのることを希望している。
- ・障害者文化・交流活動支援事業として小松（本居商店街 夢やができました。）、輪島、金沢にもできる予定です。
- ・温泉療養事業として 県から1人に3,000円補助する。
- ・精神科救急医療の案内電話番号周知徹底のためにシール1万枚用意した。

川島保健所長会会長：

- ・受け身にならないでください。待っていても動かない。市町村を育ててください。
- ・ホームヘルプサービスは必要があるから立ち上げたので、使わないと育たない。
- ・当事者でなければ分らない。一緒に育てていくパートナーとなってほしい。

平成14年度事業報告・決算報告、平成15年度事業計画案・予算案、役員改選、会則改正等の議案は全て可決され終了後 高森信子先生の講演がありました。

講演要旨

「家族の治療的役割」 —安心と勇気を上げられる家族になるため—

SSTリーダー 高 森 信 子

最初に統合失調症の患者の幻聴、幻覚を体験するビデオを6分間視聴する。

幻覚、幻聴は不安、孤立、過労、不眠の4つが重なると健康な人でも出てくる。不安、過労、不眠には薬は効くが、**孤立には薬は効かない。**

孤立を埋めるには

- ①大事な人（重要な要を握っている人）
- ②生きているだけで立派です。（今の私を認めてよ。今を精一杯生きているのよ）
- ③気持ちを分ってあげる。（こころの栄養）今を認める。「だめじゃないの」という言葉が、相手の自信を奪っていく。ほめること。

相手の気持ちがわかって、自分の気持ちが言えて、互いに成長しあえる関係をつくる。

①相手の気持ちがわかり、②言葉をなぞりて、③「あなたが大事な人だから…」と言った後で自分の気持ちを言う。

『夜11時、早く寝なさいと言いたくて子どもの部屋へ行く。〇〇に熱中している。息子は「薬飲んで早く寝なさいと言いに来たんでしよう。」と言う。』

という設定でロールプレイをしました。

：熱中していることは褒めてほしい。健康な部分を押し上げて欲しい。

「家族の体験から未来へのはばたき」

一 県連30年の歩み 一

平成15年7月6日(日) 午前10時から
石川県社会福祉会館 4階 大ホール

作業所のメンバー、職員によるオープニングコーラス「世界に一つだけの花」で幕を開け、日頃お世話になっている支援事業所、ボランティア団体、作業所職員に感謝状を贈呈しました。



記念講演「心ゆたかに生きる」詩の朗読、三障害の家族によるシンポジウム「家族の体験から未来へのはばたき」等約300名の参加を得て充実した内容で終始しました。詳しくは年内に上梓する予定の「石

家連30周年記念誌」に掲載する予定です。ご期待ください。

精神障害者社会復帰施設整備費補助問題を考える緊急集会

平成15年7月22日 東京、永田町 砂防会館にて

今年度通所授産施設や福祉ホーム等の社会復帰施設に対して、申請件数の8割に、国の補助金が出ない見通しであることが明らかになりました。そこで、全家連等5団体は7月22日都内で精神障害者社会復帰施設の拡充を求める緊急集会を開きました。全国から600人がかけつけ石家連の代表も参加して、各地の窮状を訴えました。こうした現場の声に賛同する国会議員も来場、参加者を励ました。

これを受けて「国は直ちに不採択分のすべ

ての復活を」といった内容のアピール文が採択され、代表は永田町の議員会館を回ったほか、厚生労働省主管局部、課で交渉しました。交渉は「残念ながら、前向きな回答は得られなかったが、今日は大事な一步を踏みだせた。」との報告がありました。

その後、補助金の採択を増やす方向で厚生労働省と話し合いがなされていると聞いています。
(紺谷 記)

お知らせ

手帳サービス拡大〔NTTドコモ携帯基本料金割引〕スタート

9月1日から、「精神障害者保健福祉手帳」のサービスが拡大します。

《NTTドコモ「ハートィ割引（ふれあい割引）について》

サービス内容1：月々の基本使用料が50%割引になります。

サービス内容2：iモード・留守番電話サービス・キャッチホンサービスの月額使用料も50%割引になります。

ドコモの携帯電話サービスを新規契約と同時に申し込む場合

ドコモショップ・ドコモマイショップ・ドコモ取扱店にて受付ます。

・用意するもの

- 1 精神障害者保健福祉手帳（コピーでは受付できません）
- 2 必要な費用は電話機買い上げ代金
- 3 金融機関などの届け印、預金通帳など口座名義・口座番号のわかるもの（口座振替手続きのために必要です。）

すでにドコモの携帯電話サービスを契約している場合

近くのドコモショップ・ドコモマイショップで申込みできます。

（受付開始）平成15年8月21日

（摘要開始）平成15年9月1日

問い合わせ先：0120-800-000

第36回全国精神障害者 家族大会・埼玉大会のご案内

〈テーマ〉^{さい}彩の国からの^{たびだち}出発
～全家連の再生を目指して～

〈日 時〉2003年10月24日（金）

〈会 場〉大宮ソニックシティ
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5
Tel：048-647-4111

〈参加費〉家族会員・一般 3,000円
含資料代 当事者・学生 1,500円

平成15年度

北信越ブロック精神保健福祉 促進研修会 福井大会

〈テーマ〉ともに語ろう、考えよう、支えあおう

〈日 時〉2003年9月25日（木）～26日（金）

〈会 場〉芦原温泉「清風荘」
福井県芦原町温泉3丁目

〈参加費〉1,000円
含資料代

問い合わせ：各家族会・石家連事務局

編集後記

本格的な暑さがやって来ましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、30年前の「いしかれん第1号」を見る機会がありました。石家連の発足に、精神科医の方や、行政の方達の大きなお力添えがあったことを知ることが出来て、今更ながら感謝の念が湧いて来ました。この「いしかれん第1号」は「石家連30周年記念誌」に載せる予定です。お楽しみに。